



笠原 賢二

社団法人東北経済連合会 副会長

「不可能・可能」

錦織圭選手の活躍で、最近テニスの試合のテレビ中継が増えています。テニスに関心
がなかった方からもその内容や結果を話題にされ、びっくりすることがあります。

私も高校時代、テニス塗れの3年間を過ごしました。毎春、クレーコートや、土や砂に苦
塩を加え、固めてコート造りをしてから本番となります。ラケットのフレームもウッドです
ので、使用後は必ずプレスをしておかなければ変形してしまいます。実に時間のかかるス
ポーツでした。今や、全天候型コートも整備され、ラケットもカーボン製、ガットも化学
繊維のものが開発され、道具の進化に伴い、プレースタイルも変化してきました。科学
的なトレーニングも専門家が指導しているようです。

錦織選手は、全日本ジュニア選手権を取り、アメリカのIMGアカデミーに、盛田正明
(ソニー創業者昭夫氏の実弟) テニス・ファンドを活用して入門し、現在の活躍へとつな
がっています。当然、世界から集まる若手の中から、限られた人だけが結果を得られる
ことですから、相当の努力をされたことと思います。しかし、盛田氏が私財を出していな
ければ、またIMGアカデミーが設立されていなければ、今日の錦織選手が存在しただ
ろうかとも思われます。

現在、東北地方も東日本大震災から5年が経過して、復興の第二ステージに入りました。

風評等の誤解は国が率先して払拭に努め、前進させていただきたいと思
います。また、廃炉等科学の進歩に委ねなければならないことは、そのステップを私達
にも適宜公表して安心感を持たせてほしいと思
います。

一方、私達も「できることはすぐやる」との決意が必要でしょう。確かに避難地
域ならびに解除された地域の方々のご苦勞は並大抵ではありませんが、必ずや復興され
るとの希望を持ち、ふるさとへの思いを忘れずに進んでいただきたいと思
います。また、一人ひとりの力は微々たるものでも、みんなが結集すれば大きくなり
ます。明治維新から百五十年余、幾多の困難を克服してきた日本国民の根性を信じ
たいと思
います。

私は幸いにも、小泉信三先生が創られた寮で四年間生活しました。昭和11年に東洋一
と言われた建物は、戦前戦後、海軍、米軍それぞれの接収により、相当痛んでしま
いましたが、使用禁止のローマ風呂等にその面影が残っていました。先生は、「練習は
不可能を可能にする」との言葉を残されています。錦織選手に続く若い世代に改善
された環境を作り、「練習こそ」を体現してもらいたいものです。

(福島県経営者協会連合会 会長・かさはら けんじ)